

令和6年度 小学部経営案

学校教育目標

一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けて、より豊かに生きる児童生徒を育成する

校 訓

明るく 仲良く たくましく

学校経営の重点

- 学ぶ意欲と自己肯定感を高める教育活動の展開
- 表現力及び体力の向上、健康増進
- 安全で安心な学校づくり
- 家庭・地域との連携強化
- お互い認め合い、高め合う教職員集団の実現
- 業務改善の推進と組織の活性化

小学部の教育目標

豊かな生活につながる、児童の基礎となる力を伸ばすために

- 力いっぱい活動し、自ら取り組もうとする意欲と態度を育てる。
- 身の回りのことが、自分でできる力を育てる。
- 人を思いやり、仲良くかかわろうとする心を育てる。
- 最後までがんばり抜く力を育てる。

小学部の教育方針

- 人権尊重を教育の基盤とし、児童と教師の信頼関係を築き、児童同士の人間関係を広げる。
- 的確な実態把握を行い、個々の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。
- 家庭、地域、関係機関との連携を密にし、指導及び支援の充実を図る。

本年度の努力点

- 児童が楽しみながら意欲的・主体的に学習に取り組むために学習内容や活動、評価方法を工夫し、授業改善に努める。 **【主体的な学び】**
- 様々な活動を十分に体験し、経験の拡大を図るとともに、達成感や成就感が味わえる活動を工夫し、自己肯定感の育成に努める。 **【体験・経験にもとづく学び】**
- 身辺自立の確立に向け、自分でできることを増やすとともに、自分でやろうとする意欲と態度を育む。 **【身辺自立の確立】**
- 表現する場面や方法を工夫し、児童が表現する楽しさを味わえるようにするとともに、様々な表現力の育成に努める。 **【表現力の育成】**
- 目的意識を持って、楽しみながら活動する中で、健康な心と身体・体力づくりに努めるとともに、運動の習慣化を図る。 **【からだづくり・体力づくり】**
- 一人一人の実態把握に努め、障がい特性や個に応じた指導・支援の工夫をする。
- 「あいさつ」から人とのかかわりを広げ、自分なりの「自己表現」をしたり「他者理解」を深めたりして、楽しみながら学校生活を送ることができるよう努める。
- 家庭や地域との連携を密に取り、指導の充実を図る。